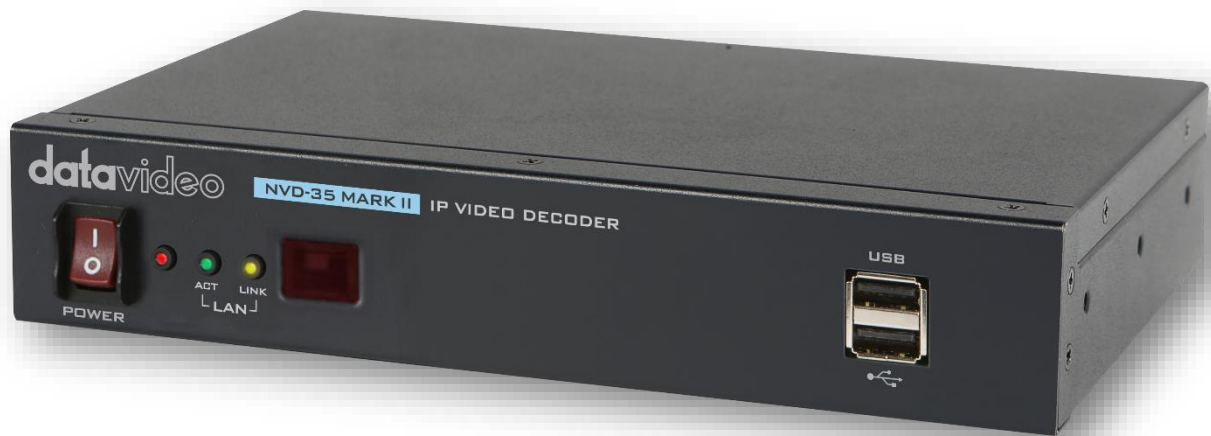


IP ビデオデコーダー

NVD-35 MARK II



取扱説明書

datavideo
JAPAN

www.datavideo.jp

目次

内容物.....	2
概要.....	3
特長.....	3
■ フロントパネル.....	5
■ リアパネル.....	6
IP ネットワーク上で NVD-35 MARK II を見つける方法.....	8
NVD-35 MARK II ウェブブラウザによるログイン.....	9
NVD-35 MARK II ウェブブラウザのホームページ.....	10
自動ファームウェアアップデート.....	21
NVD-35 MARK II ソケットコマンド.....	21
ファイアウォール/ルーターでのポート転送.....	21
仕様.....	22
サポート窓口.....	23

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、弊社まですぐにご連絡下さい。

番号	品名	数量
1	IP ビデオ デコーダー (NVS-35 MARK II)	1
2	AC/DC 変換アダプタ (DC12V / 1.0A)	1
3	リモコン	1
4	取扱説明書 (本書)	1

概要

Datavideo NVD-35 MARK II は、SDI、コンポジット、アナログオーディオ出力を備えた有線の IP ビデオデコーダです。

NVD-35 MARK II は、SRT、RTSP、RTMP、UDP、TCP、HTTP、HLS、MPEG-TS などの一般的なプロトコルをすべてデコードし、最大 1080p60 の解像度で SD/HD ビデオを出力できます。

YouTube Live、UStream、ほとんどの主要 CDN から、サードパーティの広告なしで直接デコードできます。

NVD-35 MARK II は、Datavideo NVS-33/35/40 IP エンデフォルトでは、物理的な接続が完了すると、NVD-35 MARK II は DHCP ネットワークサーバーから IP アドレスを取得しようとします。後ほど説明しますが、必要であればスタティック IP アドレスに変更することができます。コーダーにも最適であり、イーサネット、WiFi、またはインターネットを介した FHD ポイント to ポイントのビデオリンクを可能にします。dv クラウド (<https://www.dvcloud.tv/>) に接続すると、NVD-35 MARK II は世界中どこからでも制御でき、クラウド経由でどのエンコーダーにも簡単に接続できます。

Datavideo DVS-200 サーバーまたは dv クラウドに接続すると、NVD-35 MARK II は IPTV セットトップボックスとして機能し、ライブおよび録画済みストリームのチャンネルリストを自動的にダウンロードします。

特長

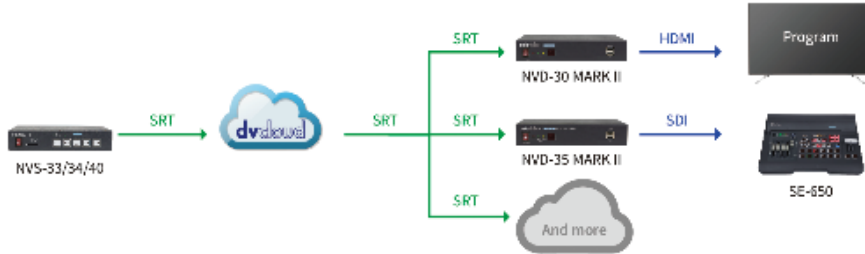
- 標準的な 10/100Mb イーサネットネットワークで動作
- 低遅延で優れた画質
- ユニキャストおよびマルチキャストをサポート
- RTSP (ユニキャスト/マルチキャスト)、RTMP、UDP (ユニキャスト/マルチキャスト) をサポート、TCP、HTTP、HLS、MPEG-TS をサポート。
- SRT リスナーモードをサポート
- ポイント・トゥ・マルチポイント配信用の RTMP サーバー内蔵
- ほとんどの主要 CDN から、サードパーティ広告を介さずに直接デコード可能。
- dv クラウド経由のリモートコントロール
- DVS-200 クラウドストリーミングサーバーからのチャンネルリストダウンロード
- 設定とコントロールのための機能豊富な WebUI
- ビデオスケーラー内蔵
- フル HD ビデオとオーディオをサポート
- エンベデッドデジタルとアナログオーディオの同時出力に対応
- ソケットコマンドによるリモートコントロールに対応
- 小型フォームファクター、RMK-1 を使用してラックマウント可能
- SDI およびコンポジットビデオ出力に対応

システム図

Datavideo NVD-30/35 MARK II decoders provide complete streaming workflow solutions

プライベートな配信ネットワークが必要な場合

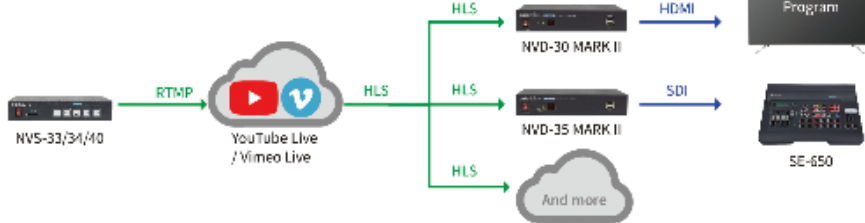
信頼性が高く、低遅延のプライベート配信ネットワークが必要な場合に最適です。



YouTUBE/Vimeo ライブ配信の仕組み

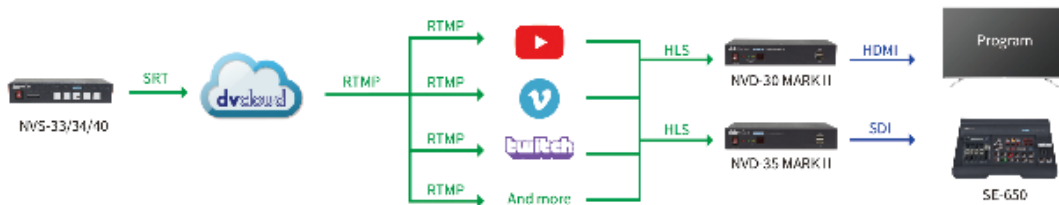
YouTUBE Live や Twitch など、ご希望の CDN に直接動画を送信することも可能です。

etc..



最高のライブストリーミング体験

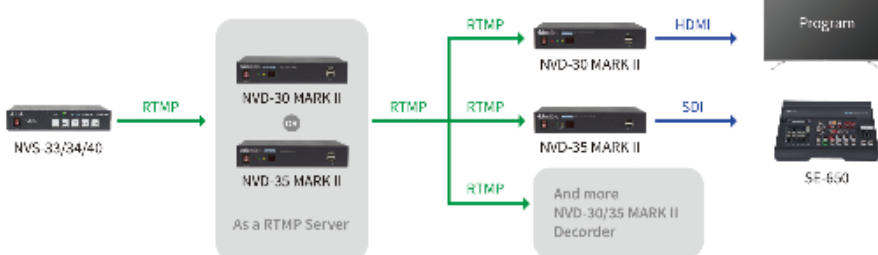
ネットワーク環境が不安定な場合でも、最高のライブストリーミング体験のために、dvCloud 統合後、動画は CDN に配信されます。



NVD-30/35 MARK II as a RTMP server

多数のデコーダーにストリームを配信

NVD-30/35 MARK II は RTMP サーバーとして使用できるため、マルチキャストを使用することなく多くのデコーダーにストリームを配信することができます。



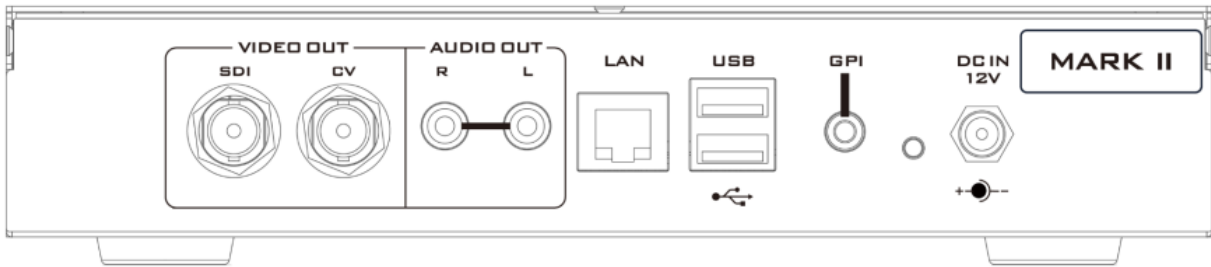
各部の名称および機能

■フロントパネル






 <p>POWER</p>	<p>電源スイッチ デバイスの電源をオン/オフする。</p>
 <p>ACT LINK LAN</p>	<p>状態表示 LED Power LED : 赤色の電源 LED は、NVD-35 MARK II がアクティブ電源であることを示します。 ACT LED : 黄色の ACT LED の点滅は LAN のアクティビティ（データのアップロードとダウンロード）を示します。 LINK LED : 緑色の LINK LED は LAN リンクがアクティブであることを示します。</p>
 <p>USB</p>	<p>USB ポート 現在開発中の機能</p>

■ リアパネル



	<p>オーディオ出力 (RCA) RCA ステレオ、ラインレベルのアナログ音声用</p>
	<p>SDI 出力 SDI デジタル信号出力コネクタ</p>
	<p>CVBS 出力 (BNC) コンポジットビデオ出力コネクタ</p>
	<p>イーサネットポート (RJ-45) 10/100M ベースイーサネットネットワークインターフェイス</p>
	<p>DC インソケット 付属の 12V PSU をこのソケットに接続します。接続は、DC In プラグの外側の固定リングをソケットにねじ込んで固定します。</p>
	<p>リセットボタン 5 秒以上押し続けると、デバイスが工場出荷時の初期設定（パスワードを含む）にリセットされます</p>

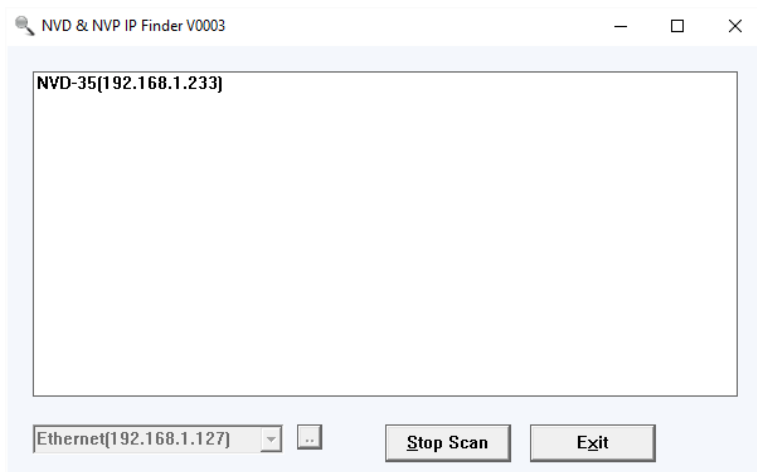
<p>USB</p>  <p>USB</p> 	<p>USB ポート 現在開発中の機能</p>
<p>GPI</p> 	<p>GPI スイッチ 開発中の接点クロージャ- GPI (General Purpose Interface) スイッチ</p>

IP ネットワーク上で NVD-35 MARK II を見つける方法

デフォルトでは、物理的な接続が完了すると、NVD-35 MARK II は DHCP ネットワークサーバーから IP アドレスを取得しようとします。後ほど説明しますが、必要であればスタティック IP アドレスに変更することができます。

NVD-35 MARK II IP Finder ユーティリティソフトウェアの使用法

Datavideo は NVD & NVP IP Finder という Windows ベースのユーティリティを無料で提供しています。このユーティリティは公式ウェブサイトの製品ページからもダウンロードできます。このソフトウェアをコンピュータで初めて使用する場合、ローカルネットワークをスキャンまたは検索するために、コンピュータのファイアウォール/アンチウイルスソフトウェアを通して許可する必要があります。



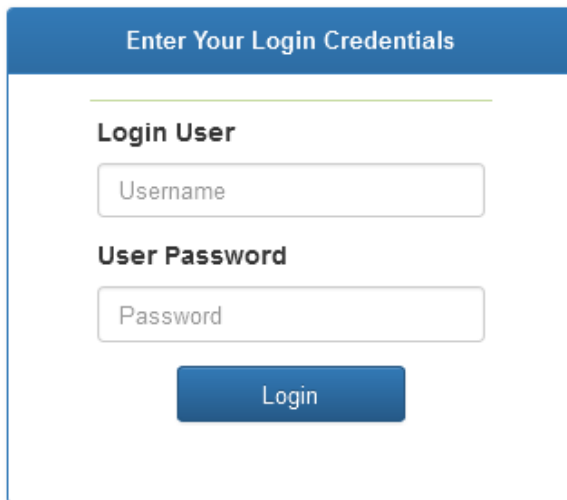
コンピュータが接続されている LAN をスキャンすると、ローカル IP ネットワーク上にある NVD-35 MARK II の現在の IP アドレスが表示されます。表示されたデバイスをダブルクリックすると、自動的にコンピュータのデフォルト・ウェブ・ブラウザが開き、NVD-35 MARK II のログイン・ページに移動します。NVD-35 MARK II のログインページに移動します。アップルコンピュータをお使いの場合は、Fing や Network Analyzer Lite などの代替ユーティリティアプリを使用することができます。

NVD-35 MARK II ウェブブラウザによるログイン

ブラウザの検索バーに NVD-35 MARK II の IP アドレスの数字を入力します。数字の間にドットを入れるのを忘れないでください。

入力すると、NVD-35 MARK II へのログインを求められます。

または、NVD-35 MARK II IP ファインダーに表示された IP アドレスをダブルクリックすることもできます。



The image shows a login form with a blue header containing the text "Enter Your Login Credentials". Below the header, there is a section titled "Login User" with a text input field labeled "Username". Below that is a section titled "User Password" with a text input field labeled "Password". At the bottom of the form is a blue button labeled "Login".

デフォルトログイン詳細

すべての NVD-35 MARK II は、工場出荷時に同じデフォルトのユーザー名とパスワードで出荷されます。ユーザー名とパスワードは必要に応じて変更することができます。

ユーザー名 = admin パスワード = 000000 [ゼロを 6 回繰り返す]

注意：ウェブブラウザは Google Chrome または Mozilla Firefox を推奨します。

NVD-35 MARK II ウェブブラウザのホームページ

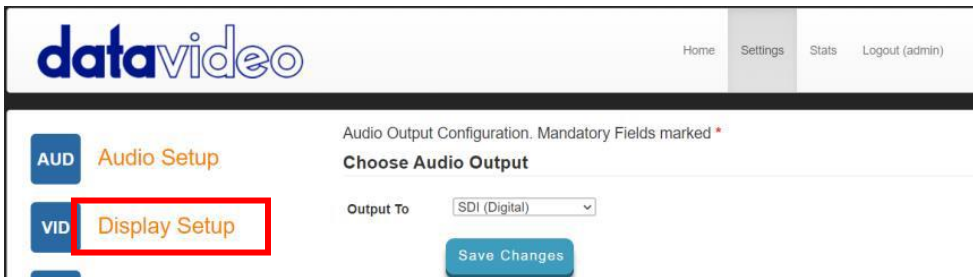
NVD-35 MARK II にログインすると、ホームページが表示されます。



設定オプションタブをクリックすると、新しいページが開きます。設定には5つのセクションがあります。

1. 設定(Settings) > オーディオ設定(Audio Setup)

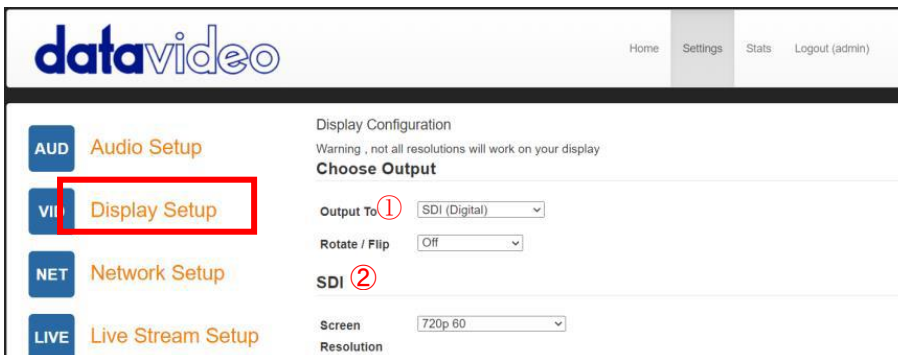
デフォルトでは、NVD-35 MARK II はデジタル SDI 接続でオーディオを出力します。また、アナログ音声を RCA 接続で出力することも可能です。



2. 設定 (Settings)> ディスプレイ設定 (Display Setup)

デフォルトでは、NVD-35 MARK II は 720P 50fps の解像度と YUV カラースペースでデジタル SDI ポートからビデオを出力します。

注意：設定された解像度はストリームがデコードしている時のみ適用されます。



①出力先

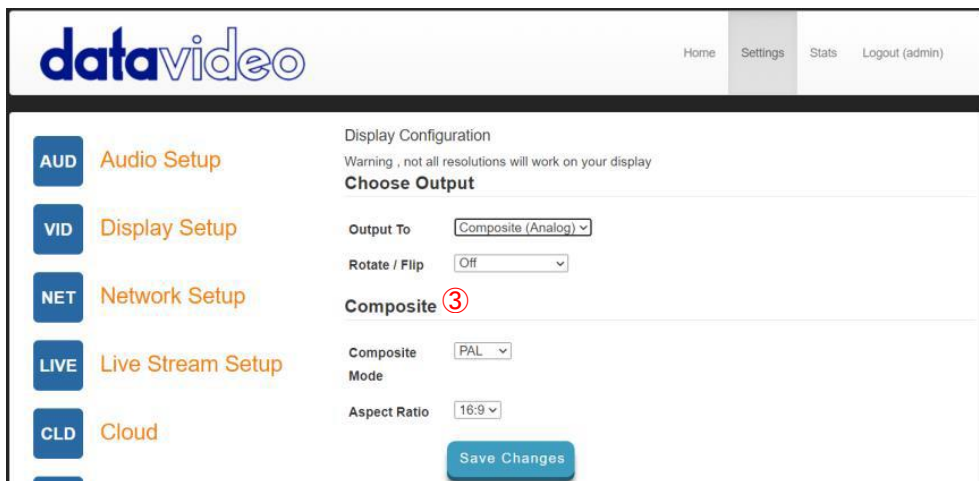
SDI デジタル出力か SD アナログコンポジット出力かを選択します。

②SDI (デジタル)

デジタルを選択した場合、画面解像度を SD PAL/NTSC から HD 1080P60/50 まで選択できます。NVD-35 MARK II は出力解像度に合うようにソースビデオをスケーリングしますが、アスペクト比(4:3 または 16:9)を合わせると出力に黒いスペースが生じますので、最適なパフォーマンスを得るには出力解像度をソースビデオに合わせる必要があります。色空間は YUV (YCbCr) と RGB の間で切り替えることができます。ほとんどのビデオ機器は YUV 色空間を使用しますが、ディスプレイで色がおかしく見える場合は RGB を試してください。

③コンポジット (アナログ)

アナログを選択すると UI が変わり、アスペクト比 4:3 または 16:9 の PAL と NTSC の解像度のみ選択できます。



④回転/反転

ビデオ出力を回転または反転 (ミラー) するオプションを提供します。

3. 設定 (Settings)> ネットワーク設定(Network Setup)

デフォルトでは、NVD-35 MARK II は DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得します。DCHP サーバーがない PC やネットワークに NVD-35 MARK II を直接接続して使用する場合は、'Static Configuration' を選択して手動で IP アドレスを設定してください。IP アドレスの設定に詳しい上級者のみ、手動で「静的設定」の IP アドレスを設定することをお勧めします。

①Proxy (プロキシ)

NVD-35 MARK II をプロキシサーバー経由でインターネットに接続するように設定します。プロキシサーバーは、ファイアウォールがある場合にそれをバイパスする方法でもあります。プロキシ IP とポート番号を入力してください。

Proxy

HTTP(S) Proxy

②Time

デフォルトでは、NVD-35 MARK II はパブリック NTP サーバーと内部クロックを同期します。ストリームソースを動作させるには、内部クロックが正しいことが重要です。HTTPS:// stream sources to work.

Time

NTP

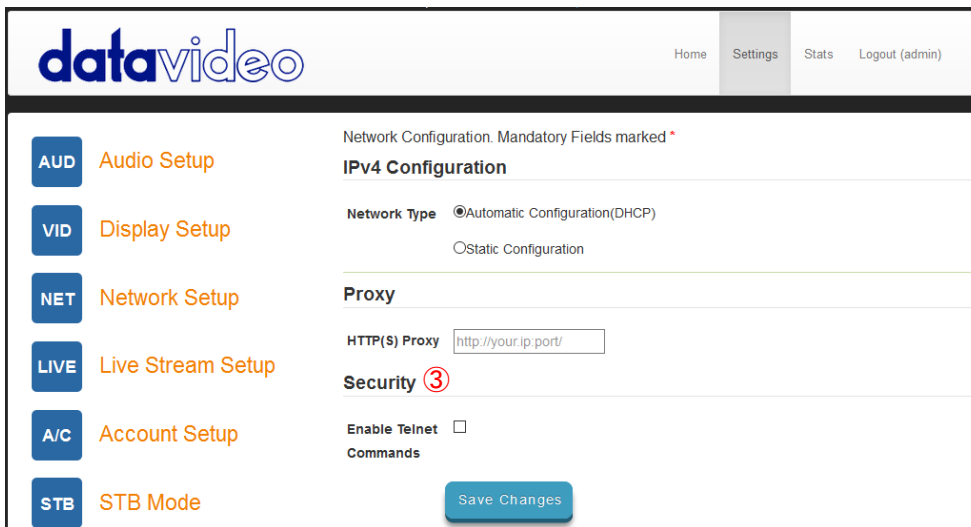
Leave blank for defaults

Servers(commaseparated)

③セキュリティ

NVD-35 MARK II をサードパーティ製アプリケーションからソケットコマンドで制御するために使用します。

詳細については、このマニュアルのソケットコマンドのセクションを参照してください。



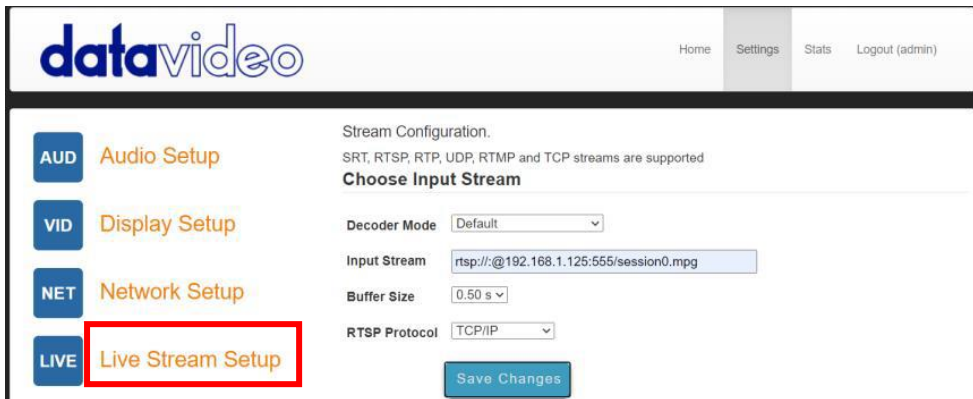
The screenshot shows the 'datavideo' web interface. The top navigation bar includes 'Home', 'Settings', 'Stats', and 'Logout (admin)'. On the left, a sidebar lists various setup options: Audio Setup, Display Setup, Network Setup, Live Stream Setup, Account Setup, and STB Mode. The main content area is titled 'Network Configuration. Mandatory Fields marked *' and 'IPv4 Configuration'. It features radio buttons for 'Automatic Configuration(DHCP)' (selected) and 'Static Configuration'. Below this is a 'Proxy' section with an input field for 'HTTP(S) Proxy' containing 'http://your.ip.port/'. The 'Security' section is highlighted with a red circle and contains an unchecked checkbox for 'Enable Telnet Commands'. A 'Save Changes' button is located at the bottom right of the configuration area.

4. 設定(Setting) > ライブストリーム設定(Live Stream Setup)

デコーダーのソースストリームを設定することができます。

NVD-35 MARK II は以下のストリームタイプをサポートしています：

- RTSP over UDP (Unicast / Multicast)
- RTSP over TCP
- RTSP over HTTP
- SRT (Secure Reliable Transport) コーラー
- MPEG-TS over UDP
- RTMP pull
- RTMP push (内部サーバー)
- UDP raw (ユニキャスト/マルチキャスト)
- HLS over HTTP
- MPEG-TS over TCP Pull



①デコーダーモード

デフォルトモードは、SRT、RTSP、RTMP、HTTP などのエンコーダからの標準ストリームをデコードする場合に使用します。

RTMP サーバー（内部）モードを選択すると、RTMP URL とストリームキーが自動的に生成され、Datavideo NVS デバイスまたはその他のビデオストリーミングエンコーダーの対応するフィールドに入力する必要があります。

RTMP 再生 URL は、複数の他のデコーダーにストリームを配信するために使用することができ、同時 RTMP クライアントの数は、100Mbps イーサネットポートによってのみ制限されます。

動画共有&HLS モードは、以下のようなサポートされている動画共有ウェブサイトからのデコードに使用する必要があります：

- ・ Dailymotion（デイリーモーション）
- ・ Livestream（ライブストリーム）
- ・ Twitch（ツイッチ）
- ・ UStream（ユーストリーム）
- ・ YouTube Live（ユーチューブライブ）

サポートされている動画共有ウェブサイトの完全なリストについては、datavideo.info ウェブサイトの製品ページを参照してください。

このモードは HLS ストリームもサポートします。デフォルト・モードとは異なり、HLS ストリームが複数の変種を含む場合、デコードしたいストリームの解像度を選択できます。

②入力ストリーム

ソース・ストリームの URL を入力してください。

- ・ デフォルトモードの例
 rtsp://192.168.1.50/stream1
 rtmp://192.168.1.50/live/stream1
 srt://192.168.1.50:9000
- ・ ビデオ共有&HLS モードの例
<https://www.youtube.com/watch?v=y60wDzZt8yg>
- ・ RTMP サーバーモードの例
 rtmp://192.168.2.16:1935/stream/stream

③バッファサイズ

デフォルトの 0.3 秒はイーサネット経由でのストリーミングに適していますが、ネットワークの安定性が低い環境では、インターネットや WiFi 経由でのストリーミング時にスムーズな映像を実現するために、より大きなバッファが必要になる場合があります。映像が乱れたり、音声途切れたりする場合は、バッファサイズを大きくしてください。

注意：バッファサイズが大きすぎると、長い遅延が発生する可能性があります。

④RTSP プロトコル

RTSP ストリームが使用されている場合のみ表示され、トランスポートプロトコルは手動で指定できます。

⑤SRT レイテンシー

SRT ストリームを使用している場合のみ表示されます。SRT (Secure Reliable Transport) は、信頼性の低いインターネット接続において、UDP パケットを経由して高品質で低レイテンシーのストリーミングを実現します。NVD-35 MARK II までの伝送中にパケットが失われた場合、失われたパケットの再送信要求がエンコーダーに送り返されます。レイテンシーを調整することで、ストリームの QoS (Quality of Service) を向上させ、パケットロスが減らすことができます。SRT ストリームに 20ms から 8000ms のレイテンシを追加できます。レイテンシを増やすと、パケットをバッファリングする時間が増え、宛先への転送中に失われたパケットを再送信できるようになる。ストリームに設定したレイテンシーの値が低すぎて、ネットワーク上でパケットロスが発生した場合、失われたパケットの再送ができなくなり、ストリームの品質が低下します。

⑥SRT パスフレーズ

SRT ストリームが暗号化されている場合、ストリームをデコードするにはここにパスフレーズを入力する必要があります。

⑦NVS-33/35/40 エンコーダーからのビデオのデコード

NVS からのビデオをデコードするには、NVD-35 MARK II が同じローカルネットワーク (イーサネット /WiFi) 上にあるか、インターネット経由で NVS ストリームにアクセスする必要があります。

⑧NVS が RTSP TCP/UDP モードの場合

NVS の 'Live' タブから RTSP URL をコピーし、NVD-35 MARK II の 'Input Stream' フィールドに入力するだけです。LAN 経由でストリーミングする場合は、NVS を RTSP (TCP/UDP) モードに設定することを推奨します。

⑨NVS が RTMP モードの場合 ローカルサーバーモード

NVS の 「Live」 タブから RTMP URL をコピーし、NVD-35 MARK II の 「Input Stream」 フィールドに入力するだけです。

⑩NVS-33/35/40 が HLS モードの場合

NVS の 'Live' タブから HLS URL をコピーし、NVD-35 MARK II の 'Input Stream' フィールドに入力します。

注意 : HLS モードでは、バッファサイズを 1.0 秒以上に設定してください。

音声のアーチファクトが気になる場合は、バッファサイズを大きくしてください。

⑪RTMP プッシュストリームのデコード

RTMP プッシュストリームをデコードするには、まずデコーダーのモードを RTMP サーバー (内部) に設定します。これにより、RTMP URL とストリームキーが自動的に生成されます。RTMP URL とストリームキーを、Datavideo NVS デバイスまたはその他のビデオストリーミングエンコーダの対応するフィールドに入力します。

⑫その他のストリームタイプのデコード

UDP マルチキャストや TCP などの他のストリームタイプをデコードするには、NVD-35 MARK II の 「入力ストリーム」 フィールドにストリーム URL を入力するだけです。

⑬プッシュされた UDP ストリームをリッスンする

プッシュされた UDP ストリームをリッスンするには、NVD-35 MARK II の 'Input Stream' フィールドに以下の URL を入力します。

udp://@:9710

※9710 をプッシュされたストリームのポート番号に置き換えてください。

⑭動画共有サイトからのデコード

まず、デコーダーのモードを「ビデオ共有」に設定し、ウェブブラウザから NVD-35 MARK II の「ストリーム URL」フィールドに URL をコピーするだけです。

例えば； <https://www.youtube.com/watch?v=y60wDzZt8yg>
オプションでストリームの解像度を選択できます。

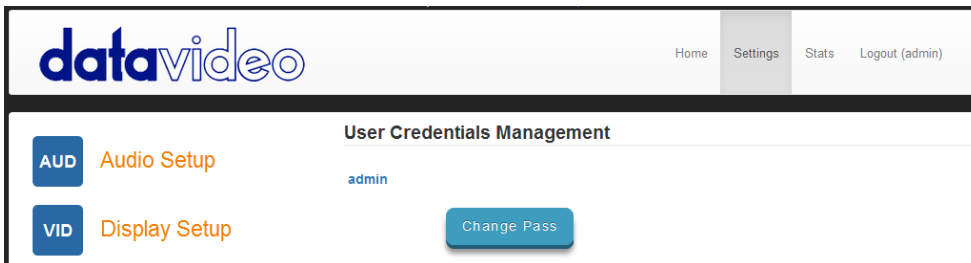
5. 設定 (Setting)> アカウント設定(Account Setup)

NVD-35 MARK II には 1 つの admin ユーザーアカウントとパスワードがあります。このアカウントは、NVD-35 MARK II のセキュリティを維持し、ストリーミング設定にアクセスするために使用されます。

初期設定のユーザー名 = admin

初期設定のパスワード = 000000 [ゼロを 6 回繰り返す]

このセクションでは、上記のデフォルトのユーザー名とパスワードを、より安全な新しいものに変更する方法について説明します。



① NVD-35 MARK II サーバーに通常通りパソコンのウェブブラウザでログインします。

② 「Setting(設定)」をクリックします。

③ 「Account Setup(アカウント設定)」をクリックします。

④ 「admin」をクリックし、新しいユーザー名とパスワードを入力します。

⑤ 「Save Cgabges(変更を保存)」をクリックします。

注意：このプロセス中に古いログイン情報またはデフォルトログイン情報が削除されますので、新しいログイン情報を記憶しておいてください。

6. 設定 (setting)> STB モード(STB Mode)

STB モードは Datavideo DVS-200 ストリームサーバーまたは dv クラウドと共にのみ使用できます。

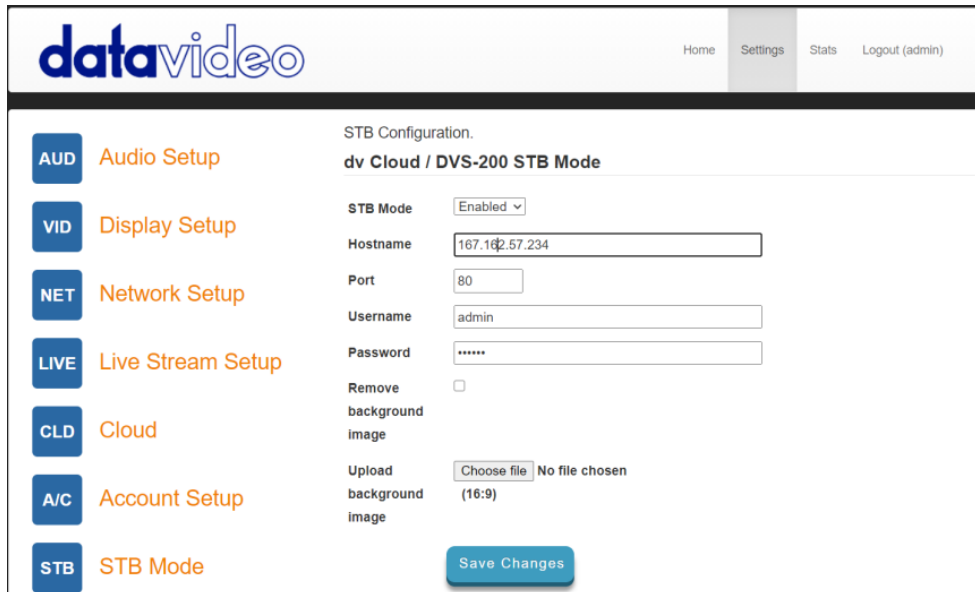
DVS-200 の詳細： <https://www.datavideo.com/for>

dv クラウドの詳細： <https://www.dvcloud.tv/>

有効にすると、NVD-35 MARK II は DVS-200 または dv クラウドサーバーに接続し、利用可能なライブおよび VOD チャンネルのリストをダウンロードし、これらのチャンネルは SDI 出力に表示されます。

チャンネルは付属の IR リモコンで選択できます。

DVS-200 で使用する場合、HLS ストリームのみがデコードされるため、このモードでは低遅延は不可能です。dv Cloud で使用する場合、低遅延が必要な場合は SRT ストリームも使用できます。



①STB モード

このモードを有効にすると、「ライブストリームセットアップ」オプションは無効になり、NVD-35 MARK II は SDI 出力にチャンネルリストを表示し、コントロールは付属の IR リモートのみを使用します。
 注意：STB モードは SDI 出力専用です。

②ホスト名：DVS-200 マシンの IP を入力してください。

③ユーザー名：チャンネルをダウンロードしたい DVS-200 ユーザーアカウントを入力します。

※このユーザーアカウントがアクセスできるチャンネルのみ表示されます。

④パスワード：DVS-200 ユーザーアカウントのパスワードを入力します

⑤背景画像をアップロードする

ここでカスタム背景画像をアップロードできます。

⑥背景画像を削除する

アップロードした背景画像を削除し、デフォルトに戻します。

接続すると、SDI 出力に画面上的チャンネルリストが表示されます。














RMC-12 IR リモート

NVD-35 MARK II には IR コントロール RMC-12 が付属しています。



コントロールが付属しています。主な機能は以下の通りです。

-  Vol + : 音量を上げる (再生時のみ有効)
-  Vol - : 音量を下げる (再生時のみ有効)
-  CH List : 再生を停止し、チャンネル・リストをロードします。
-  Play/Pause : 再生を一時停止し、再開します (再生時のみ有効)。
※注意 : STB モードでは、DVS-200 の HLS プレイリストの長さまでしか一時停止できません。
-  OK : 選択されたチャンネルを再生します。
-  上 : チャンネルリストナビゲーションに使用します。
-  下 : チャンネルリストナビゲーションに使用します。
-  左 : チャンネルリストナビゲーションと再生中のシークに使用します。
-  右 : チャンネルリストのナビゲーションと再生中のシークに使用します。
-  Return : チャンネルリストを閉じ、最後に見たチャンネルの再生を再開します。
-  Power : NVD-35 MARK II をスタンバイモードにします。

7. 設定 (setting)> プラグイン(Plugins)

このページでは、ビデオ共有&HLS モードの最新プラグインを含む.zip ファイルをアップロードすることができます。この機能は、Datavideo のサポート担当者の指示がある場合にのみ使用してください。

8. 設定 (setting)> クラウド(Cloud)

クラウドモードでは、NVD-35 MARK II を dv クラウド(<https://www.dvcloud.tv>)に接続し、以下の機能をご利用いただけます：

- ・ インターネット経由でどこからでも NVD-35 MARK II の設定をコントロールできます。
- ・ インターネット経由でどこからでも NVD-35 MARK II をモニターできます。
- ・ NVD-35 MARK II とエンコーダーをクラウド経由で簡単にリンクできます。
- ・ SRT (セキュア・リライアビリティ・トランスポート) を使用して、インターネット経由で信頼性の高い低レイテンシーのポイント・ツー・ピンリンク NVD-35 MARK II を dv クラウドに接続 この機能を使用するには dv クラウドの契約が必要です。

<https://www.dvcloud.tv/>。

まずクラウドオペレーションを有効にし、dv クラウドのユーザー名 (サインアップ時に使用したメールアドレス) とパスワードを入力し、「Save Changes(変更を保存)」をクリックします。

次に、接続する dv クラウド サーバを選択し、オプションでデコーダに名前を付けます（「Studio One」など）。デバイス名を設定しない場合は、NVD-35.MK2-123456（123456 はデコーダーのシリアル番号）が使用されます。

dvCloud Password

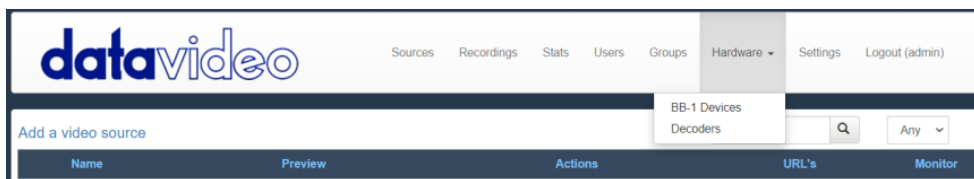
dvCloud Servers

Device Name

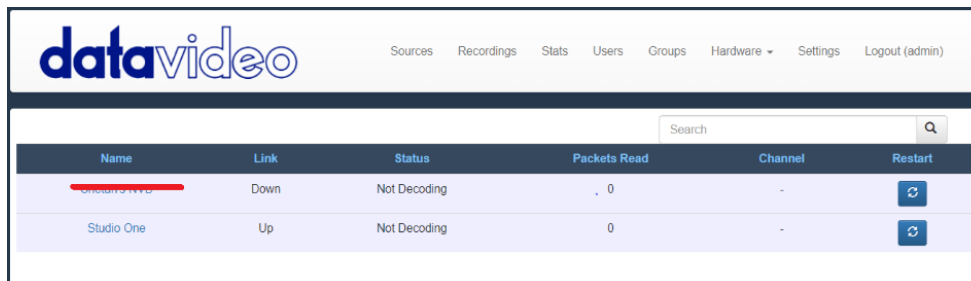
「Save Changes(変更を保存)」をクリックすると、NVD-35 MARK II が dv cloud に接続されます。

dvクラウド経由でのコントロール



「Hardware(ハードウェア)」メニューから「Decoders(デコーダー)」を選択します



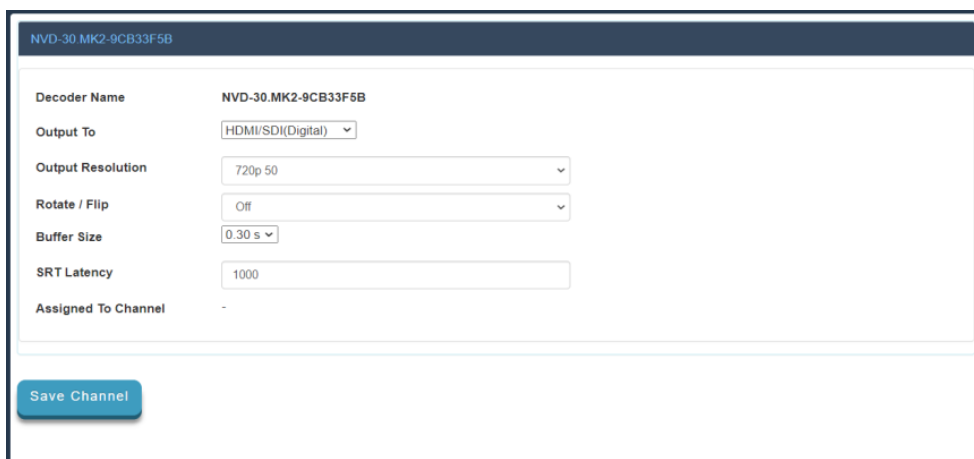
以下のように NVD-35 MARK II が表示されます。



The screenshot shows the 'Decoders' page in the datavideo interface. It features a table with the following columns: Name, Link, Status, Packets Read, Channel, and Restart. There are two rows of data:

Name	Link	Status	Packets Read	Channel	Restart
Shoreline NVD	Down	Not Decoding	0	-	
Studio One	Up	Not Decoding	0	-	

デコーダーの名前をクリックすると、リモートで設定にアクセスできます。



The screenshot shows the configuration page for a decoder named 'NVD-30 MK2-9CB33F5B'. The page contains the following fields and options:

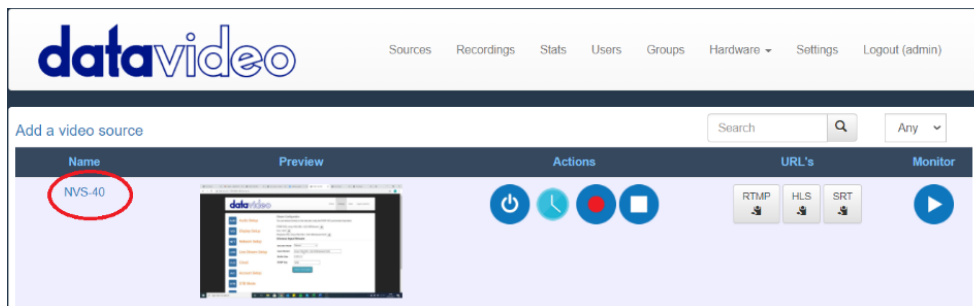
- Decoder Name: NVD-30.MK2-9CB33F5B
- Output To: HDMI/SDI(Digital)
- Output Resolution: 720p 50
- Rotate / Flip: Off
- Buffer Size: 0.30 s
- SRT Latency: 1000
- Assigned To Channel: -

At the bottom of the page, there is a 'Save Channel' button.

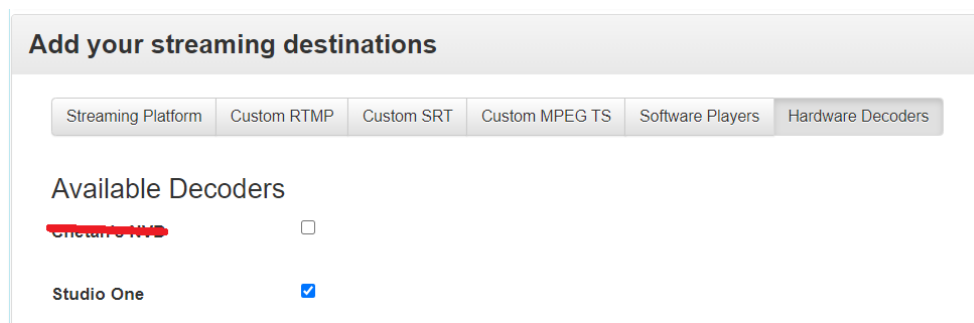
dv Cloud のライブチャンネルにリンクする

dv Cloud でのエンコーダの設定については、<https://www.datavideo.info/> のサポート資料を参照してください。

ビデオ ソース名をクリックします。

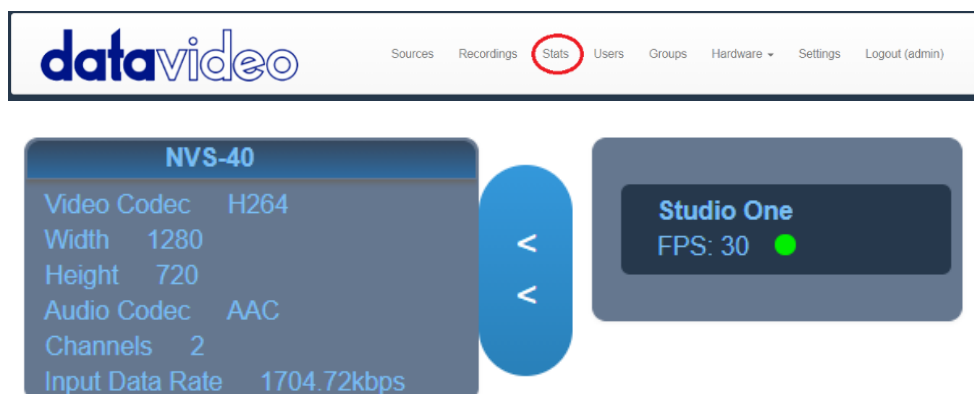


「Add your streaming destinations(ストリーミング先の追加)」で「Hardware Decoders (ハードウェアデコーダー)」タブを選択する。



リンクさせたいデコーダーの横にあるチェックボックスを選択し、設定を保存します。

「Decoders (デコーダー)」のページで、NVD-35 MARK II がチャンネル NVS-40 にリンクされていることがわかります。

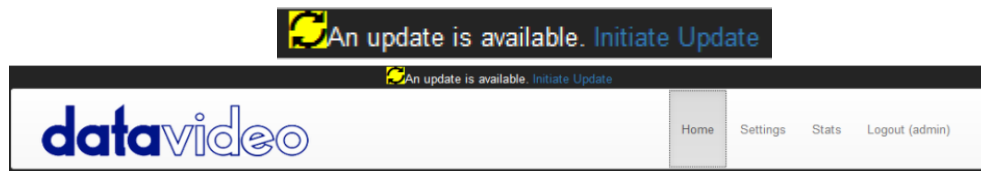


自動ファームウェアアップデート

NVD-35 MARK II は、ユーザーが手動でファームウェアのアップグレードをインストールする必要がないように、自動アップデートシステムを採用しています。

NVD-35 MARK II は、インターネットに接続されると自動的にアップデートをチェックします。

アップデートがあれば、インターフェースの上部にメッセージが表示されます。アップデートを開始する "リンクをクリックするだけでアップデートが開始され、アップデートのステータスは "Stats "タブで確認できます。



NVD-35 MARK II ソケットコマンド

サードパーティ製アプリケーションを使用することで、Telnet を使用して簡単に NVD-35 MARK II に接続することができます。NVD-35 MARK II に接続するには、ポート 23 の NVD ユニット IP アドレスに Telnet 接続を開きます。

注意：ソケットコマンドはデフォルトでは無効になっています。ソケットコマンドを有効にするには、'Network Tab'で適切なオプションにチェックを入れてください。

NVD ユニットはコマンドに対して 3 つのレスポンスを返します：

FAILED：コマンドが正常に実行できなかったことを示します。

OK：コマンドが問題なく実行されたことを示します。

無効コマンド：コマンドが認識されなかったことを示します。

制御コマンドは以下の通り：

Load[URL]：このコマンドの例は次のようになる。

```
Load "rtsp://192.168.1.1/stream1"
```

```
OK
```

on: CEC on コマンドを送信します (NVD-35 MARK II のみ)。

Off: CEC off コマンドを送信します (NVD-35 MARK II のみ)

Reboot(再起動)：ユニットを再起動します。

Status: 現在のステータスを表示します。(ストリーム URL と表示情報)

ファイアウォール/ルーターでのポート転送

NVS-33/35/40 のビデオストリームを (デフォルトゲートウェイを越えて) インターネットで見ることができるよう、ルーターまたはファイアウォールで特定のネットワーク関連の「ポート」を開く必要があります。ネットワーク管理者または I.T. サポートがお手伝いできるはずです。

「port forwarding(ポート転送)」機能を有効にするか、ルーターの設定で以下のポートを開いてください。

Web Server/HLS	RTSP	RTMP
80	8554(over TCP)	1935(RTMP)
	8000(over HTTP)	8080(RTMPT)
	8080(over HTTP)	8081(RTMPS)

仕様

Interface	
オーディオ/ビデオ入力	RJ-45 Female (10/100M Ethernet) x 1 DHCP/Static IP
ビデオ出力	SDI x 1 (Digital) Composite x 1 (Analogue)
オーディオ出力	RCA (L/R) x 2 SDI embedded audio
インジケータ	Power LED x 1, LAN LED x 2 (Active, Connection)
GPI	Yes
IR レシーバー	Yes
リセットボタン	Yes
Standards	
ビデオ解像度	480i 60 (NTSC) 576i 50 (PAL) 720 @ 50p / 60p 1080 @ 50i / 60i 1080 @ 24p / 25p / 30p / 50p / 60p
ストリーミング・プロトコル	RTSP over UDP (Unicast / Multicast) RTSP over TCP RTSP over HTTP MPEG-TS over UDP SRT Caller RTMP Pull RTMP Push UDP raw (Unicast/Multicast) HLS over HTTP MPEG-TS over TCP Pull Supported video sharing websites
Audio Sample Rate	48 kHz
General	
コントロール	Web browser UI for configuration and control TCP/IP Socket commands Remote control via dv Cloud
アップデート	Automatic firmware upgrade
電源	DC 12V / 0.5A

動作温度	0°C ~ 50°C
湿度	10% ~ 80%
寸法(mm)	220 x 143.3 x 42
重量	1.0 Kg

サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

datavideo は Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等を行うことは著作権法上禁止されております。

日本語訳・制作・著作 株式会社 M&Inext

2023 年 07 月 03 日改訂